

令和 2 年度

一般社団法人日本大腸肛門病学会会員集会

報告事項

1. 庶務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 事業報告および収支決算
 - 1) 令和元年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-4
 - 2) 令和元年度収支決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-8
3. 事業計画および収支予算
 - 1) 令和 2 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - 2) 令和 2 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10-11
4. 定款改正について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5. 新役員について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
6. 名誉会員および特別会員について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7. 第 76 回および第 77 回学術集会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
8. 第 78 回学術集会会長について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
9. 令和 2 年度学会賞授与について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

役員

理事長 宮島 伸宜

理事

内科・放射線科・病理科・その他（Ⅰ）

金井	隆典	小林	清典
田中	信治	中島	淳

外科（Ⅱa）

赤木	由人	池内	浩基
石原	聡一郎	板橋	道朗
幸田	圭史	橋口	陽二郎
船橋	公彦	宮島	伸宜
山口	茂樹		

肛門科（Ⅱb）

岡本	欣也	岡本	康介
栗原	浩幸	辻	順行
松尾	恵五		

監事

岩男	泰	長谷	和生
松島	誠		

日本医学会

評議員：宮島伸宜 連絡委員：小林清典
医学用語委員：池内浩基 医学用語代委員：岡 志郎
臨床部会委員：宮島伸宜

日本医学会連合

診療ガイドライン統括委員長会議：松尾恵五
外科関連学会協議会：宮島伸宜 岡本康介
外科系学会社会保険委員会連合：
実務）岡本欣也 前田耕太郎 松尾恵五 処置）岡本欣也 山口圭三
検査）池内浩基 山口圭三 手術）池内浩基 松尾恵五
外科関連専門医制度委員会：宮島伸宜 赤木由人 岡本康介
日本がん治療認定医機構連絡委員会：赤木由人
日本外科学会保険診療委員会委員：船橋公彦

1. 庶務報告

令和2年9月1日現在

	令和元年度	令和2年度	対前年度	
			増減数	増減率(%)
会員総数	6,667	6,346	-321	-5%
正会員	6,040	5,745	-295	-5%
評議員	484	463	-21	-5%
名誉会員	26	29	3	10%
特別会員	81	88	7	8%
準会員	20	15	-5	-33%
賛助会員	10	4	-6	-150%
海外会員	6	2	-4	-200%

評議員内訳	I	54
	II a	344
	II b	65

	平成30年9月～ 令和元年8月	令和元年9月～ 令和2年8月	対前年度	
			増減数	増減率(%)
入会	266	280	14	5%
退会	761	792	31	4%

退会内訳	自己都合	103
	死亡	12
	会費滞納	677

物故者(令和元年9月1日～令和2年8月31日届出)

特別会員

有馬 純孝

一般会員

生田 宏次	太田 栄	大西 博信	革島 康雄	清水 輝久
田中 正則	濱田 朋倫	濱畑 哲造	靱山 嘉樹	山内 希美

準会員

飯沼 久恵

2. 事業報告および収支決算

1) 令和元年度事業報告

イ) 学術集会

第74回日本大腸肛門病学会学術集会を長谷和生会長のもと、令和元年10月11日(金)、12日(土)の両日、東京都港区において開催した。(ただし、12日(土)は台風のため安全確保を最優先とすべく中止とされた。)

ロ) 機関誌

邦文誌は、学術集会抄録号および特集号を含め年間10号を発刊しており、8月末現在の投稿数は52編である。

英文誌は、年間4号(1月、4月、7月、10月)を発刊しており、令和元年9月から同2年8月末までの投稿数は70編である。また、独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「国際情報発信強化」として、元年度は1,000万円の交付を受けた。なお、令和元年度は当該事業の助成期間3年目であったことから、日本学術振興会による中間評価が実施された。

ハ) 教育セミナー

第29回教育セミナーは令和2年5月31日(日)品川プリンスホテルにおいて開催予定のところ、4月初旬、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、開催方式がeラーニングに変更された。その後、政府の緊急事態宣言が発令されるなど外出自粛等も強化されたことから、開催時期そのものを事態が収束するまで延期することとされた。その間、eラーニングの講演や教材のあり方を検討し、その結果、音声付きスライドを受講者に視聴可能とするWeb環境を提供することとなった。受講者には9月29日(火)から10月12日(月)までの間を受講期間として公開された。

ニ) 専門医制度

新専門医制度のサブスペシャリティに関する動きとしては、平成31年4月に日本専門医機構がサブスペ23領域を認定、連動研修が開始予定のところ、地域医療体制への影響等の懸念から、連動研修の開始が見送られた。その後、4回にわたり厚生労働省医道審議会医師分科会医師専門研修部会において審議。令和2年2月に「サブスペシャリティ領域の在り方に関するワーキンググループ」が設置されたが、その後、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により動きが見えなかったが、同年3月に日本大腸肛門病学会としては、専門医制度委員会に「サブスペシャリティワーキンググループ」を設置して、日本専門医機構によるサブスペ領域認定に向けて作業を開始した。

ホ) ガイドライン

「肛門疾患(痔核・痔瘻・裂肛)診療ガイドライン(2014年版)」の改訂版が完成し、令和2年1月、『肛門疾患(痔核・痔瘻・裂肛)・直腸脱診療ガイドライン2020年版(改訂第2版)』として上梓された。

ヘ) 理事会

定例理事会を4回、臨時理事会を2回開催した。主要な審議事項は次のとおり。なお、定例理事会のうち、第154回(令和2年3月7日予定)は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ中止となった。(ただし、特殊事

情に鑑み、理事会の開催回数に含めることを6月27日理事会で決議)

○第152回理事会(令和元年9月14日)

①第77回学術集会の会長に幸田圭史先生を推薦することを承認 ②平成30年度事業報告および決算報告ならびに監査報告を承認 ③令和元年度事業計画および予算案を承認 ④任期満了となる杉田監事の後任に長谷理事を推薦することを承認 ⑤令和元年学会賞として、邦文誌およびJARCから各1名を決定 ⑥邦文誌編集委員会委員および教育委員会委員の交代を承認 ⑦各委員会の活動状況の報告

○第153回理事会(令和元年10月10日)

①台風接近に伴い交通機関の遮断が予想されたため、社員総会出席予定者で委任状提出者について正当な理由のない欠席とはみなさないこととし、また、第74回学術集会第2日目を中止するが座長、演者等について実績として認めることを決定 ②嘆願書の取扱いについて審議 ③医薬品(ポリドカノール)の保険診療上の適応外使用について厚労省から承認があった旨を報告 ④国際委員会および専門医制度委員会の報告

○令和元年第1回臨時理事会(令和元年10月11日)

①新理事長を選出

○令和2年第2回臨時理事会(令和2年1月10日)

①外部業務委託を終了することとし、同委託会社からの請求に対する支払いについて審議 ②外部委託終了に伴い、常勤職員2名と非常勤職員1名の新規採用を承認 ③会員管理システム新規導入することとし、提案書を総務委員会で検討、またホームページの刷新については、公募した後、広報委員会で検討することを決定 ④8年に任期を満了した委員等の交代を承認 ⑤国立がんセンター東病院からの本学会ホームページへの掲載依頼について審議、本学会とは直接関係がないことから慎重にすべきとの意見で掲載しないことを決定 ⑥国際名誉会員にかかる定款改正について、国際委員会および規約委員会で検討することを決定 ⑦各委員会の活動状況の報告

○第154回理事会(令和2年3月7日)

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止の観点から中止

○第155回理事会(令和2年6月27日)【Web併用開催】

①国際名誉会員の 신설及び名誉会員の推薦要件について定款を改正することを承認(社員総会承認事項) ②評議員計12名の補充選出を承認 ③令和2年8月22日予定の専門医試験を来年に延期し、来年の試験と合同で実施することを承認 ④第78回学術集会の会長候補の届け出を8月1日から開始すること、および担当が肛門科であることを承認 ⑤会費未納退会者3名の復会を審議 ⑥評議員資格検討委員会委員の交代および健康

保険検討委員会委員の追加について承認 ⑦第 75 回学術集会の開催について、中止にはしないという大前提の下、ESCP フェローシップおよび拡大プログラム委員会並びに全員懇親会は中止、理事会及び社員総会はソーシャル・ディスタンス等対策をとったうえで実施する旨報告 ⑧社員総会における委任状の取扱いについて、コロナという特殊事情に鑑み、今年の場合は出席扱いとすることを報告。また、コロナのために令和元年度は理事会が 1 回足りない（第 154 回中止）が、特殊事情として回数に入れることを報告 ⑨各委員会の活動状況の報告

令和元年度正味財産増減計算書

自 令和元年9月1日 至 令和2年8月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
I. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	56,732,000	62,619,000	△ 5,887,000
年会費収入	56,732,000	62,619,000	△ 5,887,000
事業収益	149,539,965	159,663,994	△ 10,124,029
掲載料収入	2,516,250	3,663,560	△ 1,147,310
広告料収入	503,808	539,008	△ 35,200
許諾料収入	710,107	973,547	△ 263,440
セミナー収入	11,384,000	10,287,820	1,096,180
専門医制度事業収入	10,930,000	10,410,000	520,000
科研費収入	9,630,000	11,460,000	△ 1,830,000
定期学術集会収入	113,727,430	122,068,859	△ 8,341,429
その他の事業収入	138,370	261,200	△ 122,830
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	4,775,617	0	4,775,617
受取利息	36	0	36
経常収益計	211,047,618	222,282,994	△ 11,235,376
(2) 経常費用			
事業費			
定期学術集会費	106,534,583	88,483,208	18,051,375
教育セミナー費	3,307,958	8,685,542	△ 5,377,584
専門医制度事業費	1,917,921	7,226,956	△ 5,309,035
印刷費	6,074,592	10,141,538	△ 4,066,946
編集費	206,005	274,104	△ 68,099
通信費	1,421,898	2,540,069	△ 1,118,171
ガイドライン費	0	308,038	△ 308,038
科研費	7,433,822	10,408,320	△ 2,974,498
倫理審査料	55,685	33,411	22,274
事業費計	126,952,464	128,101,186	△ 1,148,722
管理費			
給料手当	17,169,736	10,137,926	7,031,810
法定福利費	2,985,423	1,439,608	1,545,815
退職共済掛金	660,000	360,000	300,000
会議費	2,520,854	111,825	2,409,029
旅費交通費	2,038,762	5,037,074	△ 2,998,312
諸会費	1,127,675	400,000	727,675
水道光熱費	683,669	670,297	13,372
租税公課	11,650	11,200	450
顧問料	2,115,516	2,077,272	38,244
交際費	10,900	0	10,900
国際交流費	563,970	1,007,260	△ 443,290
消費税額等	3,141,700	2,286,000	855,700
家賃	6,463,711	6,356,868	106,843
機器使用料	954,396	742,068	212,328
外部委託費	2,414,296	14,270,025	△ 11,855,729
英文誌編集委託費	3,393,554	837,039	2,556,515
保守管理費	2,072,052	723,120	1,348,932
減価償却費	672,452	730,354	△ 57,902
庶務雑費	3,498,665	2,889,477	609,188
管理費計	52,498,981	50,087,413	2,411,568
経常費用計	179,451,445	178,188,599	1,262,846
当期経常増減額	31,596,173	44,094,395	△ 12,498,222
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	31,596,173	44,094,395	△ 12,498,222
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	31,526,173	44,024,395	△ 12,498,222
一般正味財産期首残高	236,673,056	192,648,661	12,498,222
一般正味財産期末残高	268,199,229	236,673,056	△ 24,996,444
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	3,000,000	3,000,000	0
基金期末残高	3,000,000	3,000,000	0
IV 正味財産期末残高	271,199,229	239,673,056	31,526,173

令和元年度貸借対照表

令和2年8月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	134,917	149,692	△ 14,775
普通預金	244,082,942	199,852,034	44,230,908
未収会費	7,457,000	15,961,000	△ 8,504,000
立替金	11,654,511	0	11,654,511
仮払金	8,099,520	0	8,099,520
未収入金	315,150	34,107,194	△ 33,792,044
前払金	5,510,312	4,501,034	1,009,278
流動資産合計	277,254,352	254,570,954	22,683,398
2.固定資産			
その他固定資産			
建物附属設備	147,664	170,316	△ 22,652
什器備品	50,790	101,882	△ 51,092
無形固定資産	0	598,708	△ 598,708
保証金	3,402,080	3,402,080	0
その他固定資産	438,550	86,116	352,434
その他固定資産合計	4,039,084	4,359,102	△ 320,018
固定資産合計	4,039,084	4,359,102	△ 320,018
資産合計	281,293,436	258,930,056	22,363,380
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	6,743,015	17,177,660	△ 10,434,645
前受会費	840,000	420,000	420,000
預り金	442,392	203,940	238,452
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,998,800	1,385,400	613,400
流動負債合計	10,094,207	19,257,000	△ 9,162,793
負債合計	10,094,207	19,257,000	△ 9,162,793
III 正味財産の部			
1.基金			
基金	3,000,000	3,000,000	0
2.一般正味財産			
その他一般正味財産	268,199,229	236,673,056	31,526,173
一般正味財産合計	268,199,229	236,673,056	31,526,173
正味財産合計	271,199,229	239,673,056	31,526,173
負債及び正味財産合計	281,293,436	258,930,056	22,363,380

財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管		134,917
普通預金	三菱UFJ銀行 蒲田支店	No.2316289	159,078,305
	ゆうちょ銀行 蒲田店	振替口座 No.00160-8-57453	75,500,514
	//	専門医口座 No.00140-7-752764	4,426,893
	ジャパンネット銀行 ビジネス営業部	No.3810817	77,230
	みずほ銀行 高輪台支店	No.1127182	5,000,000
未収会費		年会費未収分	7,457,000
立替金	パシフィック横浜	第75回学術集會会場費	11,654,511
仮払金	セゾンオフィス㈱	会員管理システムシステム構築中間金	8,099,520
未収入金		掲載料収入	315,150
前払金		第75回学術集會準備金	4,000,000
		第76回学術集會準備金	1,000,000
	辰己不動産㈱	9月分家賃	510,312
流動資産合計			277,254,352
(固定資産)			
その他固定資産			
建物附属設備	事務局	間仕切り	147,664
什器備品	事務局	パソコン等、会議用テーブル及び椅子	50,790
保証金	辰己不動産㈱	事務所保証金	3,402,080
その他固定資産		事務所更新料	438,550
固定資産合計			4,039,084
資産合計			281,293,436
(流動負債)			
未払金	大村印刷㈱等 ㈱TKPメディカリンク	教育セミナー、印刷費等	3,008,758
		業務委託費	187,000
		英文誌編集費	3,380,934
		電話代等	166,323
前受会費		年会費前受分	840,000
預り金		社会保険料、源泉所得税、住民税等	442,392
未払法人税等			70,000
未払消費税等			1,998,800
流動負債合計			10,094,207
負債合計			10,094,207
正味財産			271,199,229

監査報告書

令和元年9月1日から令和2年8月31日までの事業年度における貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び事業報告並びに附属明細書を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認める。

令和2年9月23日

一般社団法人日本大腸肛門病学会

監事 岩男 泰



監事 長谷 和生



監事 松島 誠



3. 事業計画および収支予算

1) 令和2年度事業計画

イ) 学術集会

第75回日本大腸肛門病学会学術集会を宮島伸宜会長のもと、11月13日（金）、14日（土）の両日、Web開催方式としてライブ配信及びオンデマンド配信により開催する。

ロ) 教育セミナー

令和元年度事業としての教育セミナーは令和2年年初来の新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の情勢を踏まえ、eラーニング方式を採用することとし、Web教材準備のため受講期間が9月にずれ込んだが、令和2年度においてはまずはこの方式の検証を行うこととし、これを踏まえて、教育セミナーの全体最適の観点から、その実効性を高めさらなる活性化を図るため各種検討を行うとともに、引き続きランチョンセミナーは実施していく。

ハ) 専門医制度

新専門医制度のサブスペシャリティ領域に関して、令和2（2020）年9月30日、日本専門医機構サブスペシャリティ領域検討委員会から、同領域に関する説明・意見交換会が実施され、今後の作業日程が示されたところ、同機構による新規サブスペシャリティ領域の審査・認定は令和3（2021）年1月～同3月の間に行われる予定であり、日本大腸肛門病学会としては、学会認定の「大腸肛門病専門医」が新専門医制度のサブスペシャリティ領域において同機構専門医として認定されるよう鋭意取り組んでいくこととする。

ニ) 機関誌

邦文誌については、投稿増加施策について引き続き検討を進めていく。

一方、平成29（2017）年1月に創刊した英文誌（Journal of the Anus, Rectum and Colon（JARC））は同年4月から日本学術振興会による「国際情報発信強化」を目的とした科研費が充当され、年4回の発刊を継続する中で、PMCへの掲載が実現するなど着実に成果を上げてきている。よって、当面年4回の発刊を継続していくが、当該科研費は令和3（2021）年度が最終年度であることから、それ以降も同様の科研費助成を得るべくインパクトファクター2.5点の取得を目指し最大限努力していくこととする。

ホ) ガイドラインの改訂版作成

平成29（2017）年3月発刊した「便失禁診療ガイドライン」の改訂版の発刊について、令和元（2019）年10月11日に設置された作成委員会において作業を実施していく。

ヘ) ホームページの刷新と会員管理システムの換装

学会のホームページは平成27年の一部改訂から見直しを行っていなかったため、現在の運営に沿った形に刷新するとともに、会員情報のセキュリティ強化のため現行の会員管理システムを刷新し新システムに換装する。

ト) 理事会

定例理事会を年4回開催し、日本大腸肛門病学会の業務執行について議論を行い、必要な事業を推進していく。

2) 令和2年度収支予算（令和2年9月1日～令和3年8月31日）

I. 収入の部

単位：円

勘定科目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減(△印一減)
1. 会費収入	(152,753,000)	(165,412,000)	(△ 12,659,000)
1) 年会費収入	64,753,000	63,810,000	943,000
2) 定期学術集会収入	88,000,000	101,602,000	△ 13,602,000
2. 事業収入	(35,300,000)	(30,930,000)	4,370,000
1) 邦文誌掲載料収入	2,000,000	2,000,000	0
2) 英文誌掲載料収入	500,000	500,000	0
3) 広告料収入	500,000	500,000	0
4) セミナー収入	11,000,000	8,000,000	3,000,000
5) 専門医収入	10,000,000	10,000,000	0
6) 科研費収入	11,000,000	9,630,000	1,370,000
7) その他収入	300,000	300,000	0
3. 受取寄付金		0	0
4. 雑収入	(700,000)	(600,000)	(100,000)
1) 著作権利用料等	700,000	600,000	100,000
2) 受取利息	0	0	0
収入合計 (A)	188,753,000	196,942,000	△ 8,189,000
前期繰越額	271,199,229	239,673,056	31,526,173
合計(B)	459,952,229	436,615,056	23,337,173

Ⅱ. 支出の部

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減(△印一減)
1. 事業費	(132,080,000)	(141,182,000)	(△ 9,102,000)
1) 定期学術集会費	88,000,000	101,602,000	△ 13,602,000
2) 教育セミナー費	8,000,000	8,000,000	0
3) 専門医試験費	4,000,000	4,000,000	0
4) 印刷費	6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000
5) 邦文誌編集費	1,700,000	700,000	1,000,000
6) 英文誌編集費	2,500,000	2,500,000	0
7) 邦文誌送料	1,200,000	1,200,000	0
8) 通信費	3,500,000	3,500,000	0
9) ガイドライン作成費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
10) ホームページ刷新費	5,130,000	0	5,130,000
11) 科研費	11,000,000	9,630,000	1,370,000
12) 倫理審査料	50,000	50,000	0
2. 管理費	(54,250,000)	(52,790,000)	1,460,000
1) 給料手当	21,000,000	9,300,000	11,700,000
2) 法定福利費	2,500,000	2,000,000	500,000
3) 会議費	200,000	200,000	0
4) 旅費交通費	3,000,000	6,000,000	△ 3,000,000
5) 諸会費	1,000,000	1,000,000	0
6) 交際費	100,000	100,000	0
7) 家賃	6,150,000	6,150,000	0
8) 水道光熱費	770,000	770,000	0
9) 租税公課	50,000	50,000	0
10) 顧問料	2,550,000	2,550,000	0
11) 国際交流費	2,000,000	2,000,000	0
12) 消費税額等	3,570,000	3,570,000	0
13) 機器使用料	1,000,000	1,000,000	0
14) 外部委託費	0	11,730,000	△ 11,730,000
15) 会員管理システム運営費	4,860,000	2,040,000	2,820,000
16) 保守管理費	2,700,000	1,530,000	1,170,000
17) 庶務雑費	2,300,000	2,300,000	0
18) 法人税等充当額	500,000	500,000	0
3. 固定資産取得支出	(500,000)	(500,000)	0
1) 備品費	500,000	500,000	0
4. 特定預金支出	(360,000)	(360,000)	0
1) 退職積立金	360,000	360,000	0
5. 更新料	0	725,000	△ 725,000
合 計 (C)	187,190,000	195,557,000	△ 8,367,000
6. 予備費	(1,000,000)	(1,000,000)	0
1) 予備費	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計 (D)	188,190,000	196,557,000	△ 8,367,000
当期収支差額(A-D)	563,000	385,000	178,000
(E) 次期繰越収支差額(B-D)	271,762,229	240,058,056	31,704,173
合計 (D+E)	459,952,229	436,615,056	23,337,173

3) 令和2年度投資予算 (令和2年9月1日～令和3年8月31日)

勘定科目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減(△印一減)
システム構築費	17,938,000	0	17,938,000

4. 定款改正について

(1) 改正内容

- ア 名誉会員推薦要件の変更（第6条第4号）
- イ 国際名誉会員の 신설（第6条第7号）

(2) 施行日

本改正案の施行日については、令和2年の定例社員総会開催の日とする。

5. 新役員について

監事 山名 哲郎

6. 名誉会員および特別会員について

(1) 名誉会員

梅枝 覚 松島 誠

(2) 特別会員

東 光邦 池原 照幸 佐藤 裕二 高添 正和 瀧上 隆夫
増田 英樹

(3) 国際名誉会員

Patrick Ronan O'Connell

7. 第76回および第77回学術集会に関する件

【第76回】

会 期：2021年11月12日（金），13日（土）

会 場：リーガロイヤルホテル広島ほか

会 長：田中 信治（広島大学大学院）

副会長：大段 秀樹（広島大学大学院）

副会長：中塚 博文（呉市医師会病院）

【第77回】

会 期：2022年10月14日（金），15日（土）

会 場：幕張メッセ国際会議場，ホテルニューオータニ幕張

会 長：幸田 圭史（帝京大学ちば総合医療センター）

副会長：鈴木 康夫（東邦大学佐倉病院IBDセンター）

副会長：小杉 光世（松戸市立総合医療センター）

7. 第78回学術集会会長について

辻 順行(大腸肛門病センター高野病院)

8. 令和2年度学会賞授与について

水本 明良(草津総合病院消化器外科・腹膜播種センター)

大腸癌腹膜播種に対する cytoreductive surgery と温熱化学療法」

日本大腸肛門病学会雑誌第73巻4号

小林美奈子(防衛医科大学校医療安全・感染対策部)

日本大腸肛門病学会男女共同参画小委員会の今後の取り組み

—女性会員に対するアンケート調査結果を踏まえて—

日本大腸肛門病学会雑誌第73巻2号

中野かおる(亀田メディカルセンター)

Effects of dietary guidance without dietary fiber supplements on the symptoms,
quality of life, and dietary intake in patients with fecal incontinence

Journal of the Anus, Rectum and Colon Volume4, Issue3